

News Release

「責任投資レポート 2025」を発行

～JA共済連初となる責任投資レポートにより、取組みの現状を公表～

J A共済連（全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長 村山 美彦）は、本会の責任投資に関する取組みを、組合員・利用者の皆さまにより詳細にお伝えすることを目的として「責任投資レポート 2025（以下、本レポート）」を発行しました。

本レポートは、本会として初となる責任投資にかかるレポートとなります。



「責任投資レポート 2025」

<https://www.ja-kyosai.or.jp/about/sustainability/esg/pdf/ri-report2025.pdf>

■ 「責任投資レポート 2025」について

本レポートでは、本会における責任投資のこれまでのあゆみをはじめ、農業・共済事業への影響が大きい課題として重点的に取り組んでいる気候変動への対応や、ESG 投資※1・スチュワードシップ活動※2 の具体的な取組みなどを分かりやすく紹介しています。

※1 財務情報に加えて、環境(Environment)や社会(Social)、企業統治 (Governance)の観点から評価、判断を行う投資

※2 投資先企業との対話や議決権行使を通じ、投資先企業の持続的な成長を促す活動

<責任投資レポート2025の主な内容>

I. トップメッセージ

資金運用を通じた社会課題解決への姿勢や、今後の取組みの方向性にかかるトップメッセージを記載

II. JA共済連の責任投資の取組み

資金運用における責任投資の基本的な考え方や方針、推進体制、これまでの責任投資の取組みのあゆみ、ESG 投資とスチュワードシップ活動からなる責任投資の全体像を紹介

III. ESG 投資の取組み

ESG を考慮した投資手法や代表的な投資事例を紹介

IV. スチュワードシップ活動の取組み

投資先企業との対話や議決権行使を通じた企業価値の向上と持続的成長を促す取組みを紹介

V. 気候変動への取組み

運用ポートフォリオの温室効果ガス排出量削減、社会課題解決に貢献する投資にかかる目標や進捗を紹介

VI. 対外活動・職員育成

責任投資に関する外部のイニシアティブへの参加状況や、職員の専門性向上に向けた取組みを紹介

■ JA共済連の資金運用における責任投資の取組みについて

本会は、農業協同組合が理念とする「相互扶助（助け合い）」を事業活動の原点とし、ひと・いえ・くるま・農業の各分野における保障提供活動や、さまざまな地域貢献活動を通じて、組合員・利用者、農業従事者、地域住民の皆さまが豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに取り組んでまいりました。

本会の50兆円を超える資金運用においても、ESG 投資およびスチュワードシップ活動を両輪とした責任投資に取り組み、運用収益の拡大と社会課題解決の両立をめざしています。

これからも、JA共済連は、農業と地域社会の持続的発展に貢献するとともに、地域社会を構成する一員としての社会的役割を果たしていくため、資金運用における責任投資を進めてまいります。

以上